

商工会

いわて

No.250

■編集・発行／岩手県商工会連合会
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-3-8

電話 019-622-4165

FAX 019-654-3363

■印刷／(有)金ヶ崎印刷

岩手県商工会連合会ホームページ
<http://www.shokokai.com/>

(2022年1月1日発行)



「岩手県商工会連合会創立60周年記念式典・ 商工会岩手県大会」を開催

去る11月26日(金)、盛岡市の盛岡グランドホテルにおいて、出席者数を絞るなどの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、関係者約180名参加のもと創立60周年を祝い、地域経済発展に向けて決意を新たにしました。

岩手県商工会連合会創立60周年

記念式典・商工会岩手県大会の特集は2ページ～

主な内容

- 年頭ご挨拶
- 令和3年秋の叙勲・褒章受章者のご紹介
- 第61回商工会全国大会・県選出国會議員陳情
- 商工会青年部全国大会のご報告
- 岩手県からのお知らせ
- 令和4年度 国が行う「事業再構築・生産性向上」支援施策の概要
- 会員福祉共済制度の紹介 他

年頭のご挨拶 より質の高い組織へ



岩手県商工会連合会
会長 高橋 富一

令和四年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、商工会及び本会の事業推進に対しまして、会員の皆様をはじめ、関係各位から特段のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国の中小・小規模企業を取り巻く環境は、相次ぐ自然災害、新型コロナウイルス感染症の影響による事業環境の激変、加えて人口減少・少子高齢化に伴う国内市場の伸び悩み、人手不足、後継者難といった構造的課題、更には最低賃金の大幅引き上げ、原油や原材料費の高騰など非常に厳しい状況にあります。

特に新型コロナウイルス感染症は、かつてない世界的な経済活動の停滞を引き起こし、多くの中小・小規模企業に深刻な影響を与えています。

引き続き予断を許さぬ状況に変わりはありませんが、一方でワクチン接種に伴う経済活動の活発化により明るい兆しも見えています。

また、本県においても、自動車及

び半導体産業の集積が加速化するとともに、昨年末の三陸沿岸道路の全線開通、今年八月のハローインターナショナルスクール安比ジャパンの開校など、地方創生の新たな胎動が始まっています。

このような中、中小・小規模企業政策において、国や県では、中小・小規模企業に関する施策の充実・強化が図られており、また昨年末のコロナ禍における事業継続支援施策の積極的な展開もあり、地域に根差した支援機関としての役割は益々重要度を増しています。

本会及び県内商工会としましては、国、県、市町村はもとより、関係機関との連携のもと、中小・小規模事業者向け支援施策を活用し、コロナ禍で苦しむ地域企業の経営危機の回避と、ウイズコロナ・ポストコロナにおけるビジネスモデルの見直しを重点に取り組みとともに、本年度から三か年の新中期計画に基づき、中小・小規模企業支援機関として、また地域総合経済団体として地方創生と会員企業の未来に貢献すべく、より質の高い課題解決力を持った組織を目指し、その歩みを着実に進めて参る所存です。

結びに、関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様のご健勝と更なるご発展を祈念いたしまして新年の挨拶といたします。

「岩手県商工会連合会創立60周年記念式典」 「商工会いわて県大会」を開催

去る11月26日（金）、盛岡市の盛岡グランドホテルにおいて、平井東北経済産業局長（代理 鈴木産業部長）、達増岩手県知事など来賓のご臨席を賜り、出席者を絞るなど新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、関係者約180名参加のもと、創立60周年を祝い、地域経済の発展に向け決意を新たにしました。

第一部 記念式典

記念式典では、高橋会長が、コロナ禍の影響を受ける中小・小規模事業者の事業継続を最優先に、地域経済牽引企業の創出、生産性の向上と事業承継の推進、被災地域の復興による経済活力の創出への取組を通じ、地域経済の持続的な発展に向け組織を挙げて取り組んでいくと力強く挨拶をしました。

続いて、永年にわたり商工会発展にご尽力頂いた功績を讃え、商工会・青年部・女性部・役員に、岩手県知事表彰、岩手県商工会連合会長表彰が授与され、受賞者を代表して、住田町商工会千田明夫会長が謝辞を述べました。

次に、平井淳生東北経済産業局長（代理：鈴木弘産産業部長）、達増拓也知事、五日市王県議会議長、森義久全国商工会連合会長（代理：齋田倉治副会長）よりご丁寧なるご祝辞を賜るなど、創立六十周年を慶祝し、地域経済の発展に向け決意を新たにしました。

第二部 商工会岩手県大会

商工会岩手県大会は、伊東企業政策委員長が議長となり、坂久保県青連会長が意見表明を、佐々木組織政策委員長が大会決議を行い、満場一致で賛成・承

認されました。

なお、決議事項は次の通り。

- 一、アフターコロナを見据えた事業継続支援の強化
- 一、復興完遂に向けた対策の強化
- 一、地域に活力をもたらす中小・小規模事業者支援の強化
- 一、中小・小規模事業者の支援体制強化

第三部 事例発表

事例発表として、「ローカルからグローバルへ」地域資源を活かした新たな価値の創造と世界への挑戦」と題して、株式会社北三陸ファクトリー、株式会社ひろの屋代表取締役CEO下岸坪之典氏より、洋野町産うへのブランド化による首都圏・海外に向けた販路開拓の取組について発表して頂きました。

地域の未来に対する熱い思いが伝わる素晴らしい内容でした。



事例発表時の会場内の様子

岩手県商工会連合会創立60周年記念式典・商工会県大会の様子

■岩手県商工会連合会の沿革（創立 50 周年～ 60 周年）

平成23年10月	震災復興に向けた「商工会岩手県大会」を開催する。
平成24年 1月	商工会改革検討委員会を設置する。（～平成 24 年度）
平成25年 1月	「ネットd e 記帳」新システム導入を開始する。
平成25年 1月	「商工会改革検討委員会最終報告書」に基づき商工会改革の開始を決定する。
平成25年 2月	「経営革新等支援機関」として東北経済産業局より認定を受ける。
平成25年 4月	人事交流専門委員会を常設委員会である職員配置委員会に変更する。
平成25年 5月	「消費税転嫁対策相談窓口」を開設する。 (令和 28 年度から消費税軽減税率対策相談窓口に改称し令和元年度まで継続実施する。)
平成26年 4月	商工会等職員の県連職員への人事権の一元化を開始する。
平成26年 4月	県連内部にいわて商工会事務管理センターを設置する。
平成26年 4月	長期休暇に対応する臨時職員設置に関する助成制度を創設する。
平成26年10月	常設委員会である会員支援委員会を企業支援委員会へ名称変更する。
平成27年 3月	岩手県商工会連合会中期計画を策定する。（平成 27 年度から平成 29 年度までの 3 か年計画）
平成29年11月	岩手県商工会青年部連合会・女性部連合会創立 50 周年記念式典を開催する。
平成30年 2月	岩手県商工会連合会中期計画を策定する。（平成 30 年度から平成 32 年度までの 3 か年計画）
平成31年 4月	広域支援制度を施行する。 広域経営指導員 3 名を県内 3 商工会（遠野商工会・二戸市商工会・滝沢市商工会）に配置する。
平成31年 4月	常設委員会である企業支援委員会を企業政策委員会へ名称変更する。
令和 2年 1月	新型コロナウイルスに関する中小企業支援対策特別相談窓口を設置する。
令和 2年11月	商工会法施行 60 周年記念式典・商工会岩手県大会を開催する。
令和 3年 1月	岩手県商工会連合会中期計画を策定する。（令和 3 年度から令和 5 年度までの 3 か年計画）
令和 3年 4月	広域経営指導員 1 名を増員し県内 4 商工会（遠野商工会・二戸市商工会・滝沢市商工会・前沢商工会）に配置する。
令和 3年11月	岩手県商工会連合会創立 60 周年記念式典・商工会岩手県大会を開催する。



祝辞を述べる
達増拓也知事



式辞を述べる
高橋富一県連会長



大会決議を説明する
佐々木弘志組織政策委員長



受賞者を代表して謝辞を述べる
千田明夫住田町商工会長



事例を発表する
株式会社三陸ファクトリー 榎ひろの屋
代表取締役CEO 下苧坪之典 氏



意見表明を行う
坂久保了県青連会長



岩手県商工会連合会会長表彰を受賞する
吉田泰治 氏（住田町商工会理事）



岩手県知事表彰を受賞する
菊地清晴金ケ崎町商工会長



岩手県知事表彰を受賞された皆さま

おめでとうございます。令和3年秋の叙勲・褒章受章者のご紹介



黄綬褒章

下河原 勝 氏
(矢巾町商工会 会員)



濱久保 優司 氏
(洋野町商工会 会員)



差畑 忠一 氏
(岩泉商工会 会員)

瑞宝単光章



佐藤 弘吉 氏
(岩手町商工会 会員)

旭日双光章



齊藤 俊明 氏
(陸前高田商工会 会員)

旭日中綬章

令和三年秋の叙勲・褒章において、五名の方々が叙勲・褒章の榮に浴されました。心からお祝い申し上げます。

第六十一回商工会全国大会

十一月十一日に東京国際フォーラムにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出席者数を例年の半数に絞り、全国の商工会長及び関係者約千六百名の参加のもと、第六十一回商工会全国大会が開催され、本県からは県連三役及び各商工会長等の二十九名が参加しました。

全国連の森義久会長の式辞の後、来賓として出席した岸田内閣総理大臣、萩生田経済産業大臣、宮崎正雄農林水産大臣政務官が祝辞を、茂木敏充自由民主党幹事長、山口那津男公明党代表、福山哲郎立憲民主党幹事長が政党代表挨拶を述べられました。

また、第六十一回商工会全国大会では、
一、コロナ禍を乗り越えるための



第61回商工会全国大会の様子

大型経済対策の早期実施

二、中小企業・小規模事業者支援策の拡充

三、販路開拓支援の拡充及びE C化の推進

四、税制・金融・労務支援等の制度の改正・拡充

五、リスクマネジメント支援の強化及び災害からの復興

六、地域を支え、共に歩む唯一の経団体としての商工会の組織力強化

など、六項目について出席者の賛同を得て大会決議としました。

なお、第六十一回商工会全国大会における本県の受賞者は、次のとおりです
※敬称略

【中小企業長官表彰】

■役員功労者

八戸 保彦（岩手町）

■女性部功労者

近藤とし子（葛巻町）

■優良常勤役職員（職員）

佐々木 悟（県連本部）

【全国商工会連合会長表彰】

■優良商工会

岩手町、普代、九戸村

■優良青年部

山田町、洋野町

■優良女性部

軽米町、九戸村

■役員功労者

磐井 正篤（陸前高田）

他二十八名

■青年部功労者

橋本敏（八幡平市）他一名

■女性部功労者

小野寺しげ子（田野畑村）他一名

■優良常勤役職員（職員）

高橋 松雄（紫波町）他五名

【事業推進優良商工会等表彰】

■組織統一推進部門

雫石商工会

■共済部門

九戸村商工会

県選出国會議員陳情

十一月十日に本会高橋会長、菊地副会長、阿部副会長、熊谷専務理事が衆議院・参議院両会館を訪れ、「第六十一回商工会全国大会」の決議等に基づく陳情を行いました。十一日には、鈴木財務大臣を表敬訪問し、大臣就任の祝意を伝えました。



本会役員による鈴木俊一財務大臣への表敬訪問

商工会青年部主張発表全国大会 滝沢市商工会青年部 ラオグジャブ・ムンフバットさん

優秀賞(全国2位)受賞!



力強く発表するムンフバットさん



発表者一同（中央ムンフバットさん）

令和3年12月7日に福岡県久留米市「久留米シティプラザ」にて、令和3年度商工会青年部主張発表全国大会が開催されました。

全国の各ブロック予選を勝ち抜いた7名がしのぎを削った同大会において、東北六県・北海道の代表として出場した、滝沢市商工会のラオグジャブ・ムンフバットさんが優秀賞を受賞。全国2位の好成績を収めました。

ムンフバットさんは7月に開催された岩手県大会、8月に開催された東北六県北海道ブロック大会を突破し、全国大会に向け研鑽を積んできました。モンゴルから岩手県に移住し、青年部に支えられながら倒産の危機も乗り越え、岩手県を第2の故郷と言えるほど愛せるようになっていくストーリーは、全国大会会場にて聴講した青年部員、WEBにて参加した青年部員合わせて3,000名以上の部員へ大きな感動と刺激を与えました。

また、最優秀賞に輝いた関東ブロック代表、埼玉県鳩ヶ谷商工会青年部の山本幸央さん、誠におめでとうございます!

IMPULSE

岩手県商工会青年部連合会事業報告

岩手県からの重要なお知らせ

岩手県内の各商工団体で受付けている「**地域企業支援金(令和3年度事業)**」について、国が実施を予定している「**事業復活支援金**」と事業趣旨や対象期間等が重複することから、地域企業経営支援金の対象期間を以下のとおり変更します。

当初：令和3年4月～令和4年3月 ⇒ 変更：令和3年4月～令和3年10月

また、申請受付期間が以下のとおり変更になりますので、ご注意ください。

当初：～令和4年3月31日(木)まで ⇒ 変更：～令和4年1月14日(金)まで
当日消印有効

※6月30日(水)で申請受付を終了した地域企業経営支援金とは異なります。

お問合せ先／お近くの商工会または地域企業経営支援金事務局

【電話番号：支援金支給相談窓口 019-654-2390 (平日9:30～17:00 ※祝日除く)】

事務局 HP はこちら→ <https://iwate-kigyoushien.com/>



11月以降の分については、国の「**事業復活支援金**」の活用をご検討ください。

「事業復活支援金」とは？

*令和4年3月までの見通しを立てられるよう、コロナ禍で大きな影響を受ける事業者には、地域・業種問わず、固定費負担の支援として、5か月分の売上高減少額を基準に算定した額を一括給付します。

*上限額は、売上高に応じて三段階。売上高30%～50%の減少の上限額は売上高50%以上減少の上限額の6割となります。

●法人は上限 **最大250万円** を給付 ●個人事業主は上限 **最大50万円** を給付

*対象者：新型コロナの影響で、令和3年11月～令和4年3月のいずれかの月の売上高が50%以上または30%～50%減少した事業者（中堅・中小・小規模事業者、フリーランスを含む個人事業主）

*開始時期：補正予算成立後、所要の準備を経て申請受付開始予定

*給付額：5ヶ月分（11月～3月）の売上高減少額を基準に算定

※公表されている内容は、変更となる場合があります。詳細については今後発表される国の情報をご確認ください。

*上限額

売上高減少率	個人	法人		
		年間売上高		
		1億円以下	1億円超～5億円	5億円超
▲50%以上	50万円	100万円	150万円	250万円
▲30%～50%	60万円	60万円	90万円	150万円



「**会員福祉共済**」の加入お申込みはお近くの商工会まで！

会員福祉共済のおすすめポイント3選！

- ①商工会員のためだけの共済だから、安くて補償が充実！
- ②けが・病気・生命保障の自由な組み合わせ！
- ③申し込みから請求まで商工会で行えるので手軽で安心！

令和4年度

国が行う【事業再構築・生産性向上】支援施策の概要

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、中小企業等が新分野展開や業態転換などの事業再構築を通じて、ポストコロナ社会を見据えて取り組む企業を重点的に支援します。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、生産性向上に取り組む中小企業・小規模事業者の設備投資、IT導入、販路開拓を支援し中小企業の生産性向上や円滑な事業承継・引継ぎを一層強力で推進します。

なお、令和4年度当初予算案については、追って中小企業庁で具体化・公表されます。

事業再構築補助金

- ・売上高減少要件を一部緩和するなど使い勝手を向上。
- ・業況が厳しい事業者や事業再生に取り組む事業者に対する特別枠（最大1,500万円補助・補助率3/4）を創設。
- ・グリーン分野への取組に対する特別枠（売上高減少要件撤廃、最大1億円補助・補助率1/2）を創設。

補助額 100万円～1.5億円
補助率 1/3～3/4

※従業員数等の要件があり、適用状況により利用可能限度額が異なります。

ものづくり補助金

- ・グリーン、デジタルに資する革新的製品・サービスの開発又は生産プロセス等の改善に必要な設備投資等を支援。
- ・赤字など業況が厳しい中で生産性向上や賃上げ等に取り組む事業者を支援。

補助額 750～2,000万円
補助率 1/2～2/3

※従業員規模等により異なる

IT導入補助金

- ・消費税インボイス制度への対応も見据え、クラウド利用料を2年分まとめて補助するなど、企業間取引のデジタル化を強力で推進。

・ITツール（会計ソフト、受発注システム等）

補助額 50～350万円
補助率 2/3～3/4

・PC、タブレット等

補助額 10万円
補助率 1/2

・レジ等

補助額 20万円
補助率 1/2

持続化補助金

- ・販路開拓等に加え、賃上げや事業規模の拡大（成長・分配強化枠）や創業や後継ぎ候補者の新たな取組（新陳代謝枠）、インボイス発行事業者への転換（インボイス枠）といった環境変化に関する取組を支援。

補助額 50～200万円
補助率 2/3～3/4

事業承継・引継ぎ補助金

- ・事業承継・引継ぎ後の設備投資等の新たな取組や、事業引継ぎ時の専門家活用費用等を支援。
- ・事業承継・引継ぎに関連する廃業費用等についても支援

補助額 150～600万円
補助率 1/2～2/3

補助金を活用するには、早期の事業計画策定が必要不可欠です。各種補助金について「気になる」、「知りたい」、「聞きたい」方は、最寄りの商工会へお気軽にご相談ください。

～優れた計画経営の取り組みを喚起！～

令和3年度 いわてビジネスイノベーションアワード 開催のお知らせ

ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 令和4年2月2日（水）午後1時～午後5時30分

【イノベーション部門】、【次世代ビジネスプラン部門】、【優良職員部門】の各部門で事例発表を行います。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の配慮を十分に行い開催します。

事業主の皆様へ あなたの年金 簡単便利な「ねんきんネット」で!

「ねんきんネット」はパソコンやスマートフォンからご自身の年金情報を手軽に確認できるサービスです。

「ねんきんネット」でできること

1. ご自身の年金記録の確認
国民年金の納付状況、厚生年金の標準報酬月額などが確認できます。
2. 将来の年金見込額の確認
今後の就業、収入および期間などの条件を自分で設定して試算することができます。
3. 電子版「ねんきん定期便」の閲覧
毎年1回送付される紙の「ねんきん定期便」を電子版でいつでも確認できます。
4. 各種通知書の確認・再交付申請ができます
年金振込通知書、公的年金等の源泉徴収票などの各種通知書の確認ができます。公的年金等の源泉徴収票、社会保険料（国民年金保険料）控除証明書などの原本が必要な場合、再交付申請ができます。

確定申告の際に便利です!

確定申告書を作成する際に、公的年金等の源泉徴収票の記載内容が必要となります。源泉徴収票は、老齢年金等の受給者全員へ令和4年1月中にお届けしますが、「ねんきんネット」でも記載内容を確認することができます。

〈ご利用方法〉

- ・「ねんきんネット」ホームページからご利用登録をいただく場合は、「アクセスキー」があればすぐにご利用いただくことができます。事業主様から従業員様分の「アクセスキー」一括発行申出も承っておりますので、ご希望の場合はお申し出ください。
- ・マイナンバーカードをお持ちの方は、スマートフォンをかざすだけで簡単にログインできますので、ぜひご利用ください。

〈お問い合わせ先〉

○日本年金機構 岩手県内各年金事務所
盛岡：TEL 019-623-6211
一関：TEL 0191-23-4246
宮古：TEL 0193-62-1963
花巻：TEL 0198-23-3351
二戸：TEL 0195-23-4111

●「ねんきんネット」ホームページ
https://www.nenkin.go.jp/n_net/



●マイナポータルホームページ
<https://myna.go.jp/>



ハローワークとともに 再就職を支援します

相談・支援
無料

厚生労働省と経済・産業団体の協力で1987年に設立された公益財団法人です。全国ネットで再就職・人材確保の支援を行っております。

- 雇用を守る出向・移籍マッチングをサポート
- 会社都合で離職、転職される方の
再就職をサポート
- 60歳以上の方のキャリアを活かした
再就職をサポート
- 企業間の人材マッチングをサポート
- 優秀な人材の育成、職場の活性化などをサポート

信頼と安心

設立以来 人材マッチング

22万人以上就職実現

公的機関として支援実績多数。
お気軽にご相談ください。

〈応援します、頑張るあなたの新職場!〉

公益財団法人 産業雇用安定センター
岩手事務所

電話番号 019-625-0434

住所 〒020-0022

盛岡市大通 3-3-10

七十七日生盛岡ビル 5階



中小企業景況調査結果の概要

◆売上D・I 全業種において売上高D・Iが悪化 建設業が大幅に悪化

今期は、全業種が悪化となりました。特に建設業は60.0ポイントの大幅な低下となり、△80.0まで悪化しました。前期9年ぶりにプラス域に達していた製造業も35.8ポイント低下の△28.6、サービス業が19.3ポイント低下の△43.9、また、小売業も小幅ながら低下して△42.7となっています。

来期は、今期大幅に悪化した建設業、製造業において売上高D・Iが改善しますが、サービス業、小売業においては今期に引き続き悪化する見通しとなっております。

◆建設業、サービス業において採算D・Iが悪化 製造業、小売業は改善

今期の採算D・Iは、製造業が前期に引き続いて上昇し、△10.7まで改善、前期大幅に悪化していた小売業も上昇に転じ、△61.0まで改善しました。他方、建設業は36.5ポイント低下の△55.0、サービス業が15.9ポイント低下の△49.2まで悪化しました。

来期は、サービス業が上昇に転じ、小売業も今期に引続き上昇が見込まれていますが、建設業は今期に引続き低下、2期連続して上昇していた製造業も低下に転じることが予想されています。

◆建設業、製造業、サービスで資金繰りが悪化 小売業は改善に転じる

今期は、2期連続して上昇していた建設業が25.0ポイント低下して△30.0まで悪化しました。また、製造業も11.5ポイント低下して△22.2、サービス業も8.3ポイント低下して△31.2まで悪化しています。前期大幅に低下していた小売業は上昇に転じ、△41.5となっています。

来期は、全業種において資金繰りが悪化することが予想されております。特に、建設業、製造業では今期に引続き大幅に悪化することが予想されています。

注) D・Iとは、景気動向指数の略で、増加(上昇、好転、長期化)企業と減少(低下、悪化、短期化)企業の差を示すものです。

業況天気図(売上高D)

業種	令和2年 7~9月	10~12月	令和3年 1~3月	4~6月	7~9月	(見通し) 10~12月
製造業	雨 △70.4	雨 △39.3	雨 △49.9	薄曇 7.2	曇 △28.6	曇 △21.4
建設業	雨 △65.0	雨 △45.0	雨 △35.0	曇 △20.0	雨 △80.0	雨 △55.0
小売業	雨 △60.9	雨 △60.9	雨 △43.9	雨 △41.5	雨 △43.9	雨 △55.0
サービス業	雨 △72.2	雨 △56.6	雨 △59.1	曇 △24.6	雨 △42.7	雨 △50.8

凡例	売上高D値	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表示	快晴	晴	薄曇	曇	雨	

ILC current topics 第2号

会員の皆様に「ILC current topics」と題し、ILC(国際リニアコライダー)の動向をお伝えします。

「なぜ北上山地がILC建設候補地に最適とされたのか」

国際リニアコライダー(ILC)は、国際協力によって設計開発が推進されている次世代の直線型加速器です。その建設候補地は研究者によって北上山地が最適とされています。

ILCは全長数十kmの直線状の地下トンネル内で電子と陽電子を光速に近い速度まで加速させ正面衝突させます。電子と陽電子を精密に衝突させる必要があるため、人工振動が少なく活断層がない硬い安定岩盤にトンネルを建設できることが求められます。

世界の研究者が協力して作成し、2013年に発表されたILC技術設計書では日米欧それぞれの施設設計が併記されていました。

日本国内の候補地は、2000年頃には13箇所が挙げられていましたが、2010年に北上山地と九州の背振山地に絞られ、2013年8月に国内の研究者から構成されるILC立地評価会議が、技術的観点および社会環境の観点から「ILCの国内候補地として、北上サイトを最適と評価する」との結論を出しています。

「グリーンILCについて」

グリーンILCとは、持続可能なエネルギー供給と、施設の木造化など地域資源を活用したエコ社会の実現を目指す考え方です。

ILC施設は実験装置の稼働により、多くの電力を使用するので、施設の高効率化・省エネルギー化の検討が行われています。また、施設から生じる熱を単に放出するのではなく、熱回収して地域で活用することも検討されています。

岩手県では、産学官が連携して様々な研究に取り組んでおり、各分野で活躍されている方々の講演を通じ、グリーンILCの理念や取組について広く理解を深めてもらうためのセミナーも開催しています。10月15日~29日までWEB配信された第8回グリーンILCセミナーでは、地域のバイオマス利用や伐採から造林までの一貫した生産システム等、地域企業の取組などを紹介しました。今後もこうしたセミナーを予定していますので、関心のある方は岩手県までお問い合わせ下さい。



(お問い合わせ先) 岩手県ILC推進局事業推進課 AB0009@pref.iwate.jp